



信州スカイパーク

人と自然が響きあう独創のモノづくり。

プラスチックの可能性は、

「人と自然の響きあい」から広がるとシンセイは考えます。

限りある資源や自然を大切にし、この地球環境を次代に継承するために。

環境負荷の少ない製品の研究開発、

省資源・省エネルギーを取り入れた生産活動、

そして社員一人ひとりの環境への意識向上。

シンセイはこれからも環境経営を貫く企業として

社会的使命を果たしてまいります。



Management Philosophy

自然・人・技術を結ぶ、環境経営の推進。

シンセイはプラスチックに携わる企業としての責任を自覚し、創業時から「人と自然にやさしい会社」を理念に打ち出してまいりました。かけがえのない生命・自然環境を見つめ、地域社会の信頼を育みながら、産業界の要請にお応えしていくことはシンセイの企業使命であり、存在意義を問うものです。国際規格ISO9001・ISO14001の認証取得はもちろんのこと、今日では日本・欧州の化学物質使用規制「RoHS指令」、「REACH規則」をクリアすべく、自社測定保証などの活動を展開しております。また社員一人ひとりが環境問題を身近な問題として認識し、日常生活の中でもリサイクルや節約を心が

けるなど、一体となって環境・安全尊重企業をめざしております。汎用性に優れるプラスチックを用いた各種パーツは、これからますます多彩な分野で重要な機能を果たしていきます。同時に世界市場を見据えた高精度・高品質・低コストの要望を満たした製品づくりが私たちに強く求められます。これからもシンセイはCSR(企業の社会的責任)のもと、プラスチックが持つ次代の可能性を見つめながら、皆さまのご要望にフレキシブルにお応えしてまいります。どうぞ私たちの着実な進展にご期待ください。

代表取締役社長
田 中 賢 彦



上高地 河童橋付近

より確かな製品を、より高品質に、より速く。

ムダ・ロスのない効率的な生産を目指しながら
つねに安定した高品質を維持するシンセイの品質管理体制。
精密測定・検査体制の充実化はもちろん、
「仕組み」「金型」「設備」「データ」の高度な連携をもって、
ショット数に関わりなく高精度な量産を進めています。
ISO9001・ISO14001認証取得、RoHS指令、REACH規制への自主対応など、
環境・安全関連でも高いレベルでの
ビジネスコンプライアンスを追求しています。

一切の妥協を許さない、品質への厳しい姿勢。

お客様の信頼と期待に応えるために、品質管理を徹底し、つねに製品への保証体制を追求しています。とくにシンセイではQ(Quality)・C(Cost)・D(Delivery)・E(Environment)に2つのS(Speed Service)を加え、ソフト&ハードともにトータルな品質保証体制を追求しています。

いうまでもなく製品の品質を左右するのは金型です。製造プロセスにおいて検査を重ねることも大切ですが、すべての起点になる金型の高精度・高耐久追求にすぐる品質管理はありません。そのためにも金型と成形品の寸法精度を最新の精密測定体制で補正・修正し、さらに綿密な熱処理条件データを駆使し、つねに安定した製品製造をすすめています。

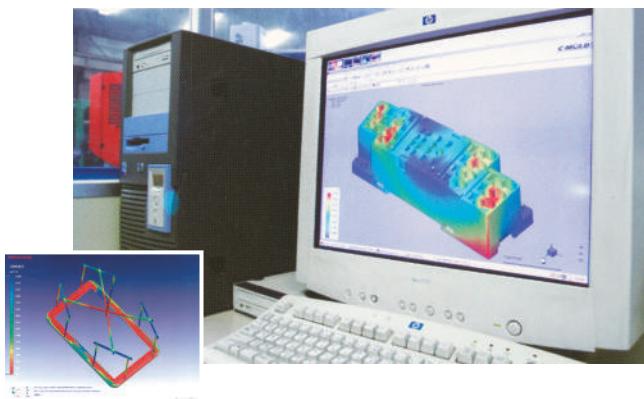
また、ISO9001・ISO14001の認証取得をはじめ、環境関連法や各種規制の遵守、高いレベルでの自主基準をクリアしていくことで行政や地域社会の環境保護活動に対応。日本・欧州での化学物質使用規制「RoHS指令」、「REACH規則」に沿った、自社測定保証など、世界基準での環境配慮への対応も進めています。



マイクロフォーカスX線CTシステム



わずか1分で交換できる独自開発のカセット方式による金型は科学技術長官賞を受賞。
多品種小量生産にもフレキシブルに対応できます。



分散型蛍光X線分析装置



杓子岳

世界に誇るモノづくり、国内拠点のこだわり。

安易に海外展開にシフトすることなく、
国内競争を選び、日本でのモノづくりを推進しています。
シンセイの存在意義は、高品質・高生産性、
そして、独自の開発力による付加価値の高い提案力。
発想と英知、意欲あふれる社員が一丸になって、
「不可能はない」を前提にあらゆるテーマに取り組み、
業界が注目する成果・実績を誇っています。

克服の実績、それはシンセイの開発力の歴史です。



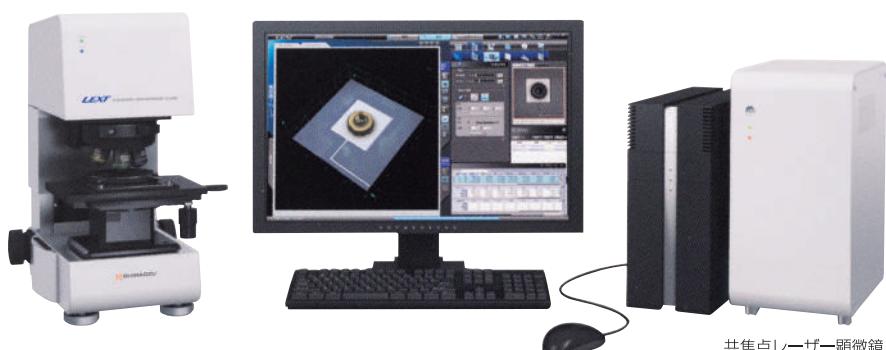
モノづくりは日本が世界に誇る技術です。技術者一人ひとりが培ってきた繊細な技能と、高精度加工を実現するマシンとの連動は、国際的な評価を獲得しています。低コストを求めて海外展開する企業が多い中で、シンセイは国内での競争を選び、より開発力にウェイトを置いた生産体制にシフトしています。

開発にあたっては出来ない、不可能である、というネガティブな意識を一切排除し、お客様の要望に社員一丸となって取り組むとともに、時にはお客様へ逆提案を行い、付加価値性に富んだ生産活動を展開しています。

また設備ではとくに金型部門を拡充。オンラインで結ばれたCAD・CAMシステムのもと、口スのない切削・研削加工を実現。

小型・軽量化・一体化にもなう複雑な加工についても、工作機械メーカーへの特別オーダーを行い、シンセイオリジナルマシンで微細加工を可能にしています。

各種資格を取得し、一芸に秀でる社員の英知・発想は、日本・アメリカでの特許取得・出願を促し、とりわけ、わずか5分で交換できる独自開発の「カセット金型」は科学技術長官賞を受賞。業界において優れた開発力の象徴になっています。



共焦点レーザー顕微鏡



甲斐駒ヶ岳

多品種少量生産とコスト削減へのトライ。

生産コストの削減、製品のタイムリーな市場投入、
省資源・省エネルギーへの挑戦。
シンセイは高精度かつ多品種少量生産の要望に応えるために、
生産管理システムのオンライン化、
全プロセスをあげてのリードタイムの短縮化、
さらに最新機器の導入など多角的な取り組みなどを実現。
本格的な情報インフラに向けて
国際規格ISO27001の認証取得も進めています。



高ボッチ高原よりの眺望

信州から全国へ、世界へ。

Company Overview

会社概要

プラスチックの未来を拓くシンセイ。

会社概要

会 社 名	株式会社シンセイ
本 社	〒399-6461 長野県塩尻市大字宗賀日出塩 5683 TEL. 0263-53-0923(代表) FAX.0263-52-8356
事 業 所	日出塩工場 〒399-6461 長野県塩尻市大字宗賀日出塩 5683 TEL. 0263-53-0923(代表) FAX.0263-52-3717 牧野工場 〒399-6461 長野県塩尻市大字宗賀牧野 3696-8 TEL. 0263-52-0828(代表)
創 立	1967年(S42)10月27日
資 本 の 額	80,000,000円
代表取締役	田中賢彦
常務取締役	清澤文子
常務取締役	田中卓也
常務取締役	田中洋爾
事 業 内 容	プラスチック製品の製造販売 プラスチック製品の金型製作 プラスチック製品の組立・加工
製 品	光通信関連部品 自動車機器部品 光学機器部品 医療機器部品 通貨関連機器部品 情報関連機器部品
HP URL	http://www.k-shinsei.co.jp/
E-MAIL	info@k-shinsei.ne.jp



にじり口の付いた本格的な「茶室」
(本社 4階)



和風の「ミニ庭園」は社員の憩いの場
(本社屋上)



「露天風呂」(本社)

沿革

1967年 (S42) 10月	長野県塩尻市広丘高出にてプラスチック成形を事業として設立/新成プラスチック工業(株) (資本金1200万円)
1973年 (S48) 12月	長野県塩尻市宗賀にて日出塩工場新築、操業開始
1981年 (S56) 8月	長野県塩尻市広丘にて野村工場新築、操業開始
1985年 (S60) 10月	日出塩工場成形工場増築
1990年 (H2) 8月	資本金2400万円に増資
1990年 (H2) 10月	株式会社シンセイ(現社名)に商号変更
1991年 (H3) 2月	資本金3000万円に増資
1992年 (H4) 2月	資本金5000万円に増資
1992年 (H4) 10月	長野県塩尻市宗賀に本社新築移転、日出塩工場第一期増改築工事完成
1994年 (H6) 12月	日出塩工場第二期新築工事完成 (クリーンルーム成形工場)
1997年 (H9) 8月	ISO9001認証取得
1997年 (H9) 12月	資本金8000万円に増資
1998年 (H10) 8月	ISO14001認証取得
1999年 (H11) 1月	日出塩工場第二・五期新築工事完成
2006年 (H18) 4月	MMTC設立
2007年 (H19) 9月	長野県塩尻市宗賀牧野にてクリーンルーム工場買収、牧野工場操業開始。野村工場売却
2007年 (H19) 12月	日出塩工場に精密測定室増築 (クリーンルーム)
2007年 (H19) 12月	本社隣接地に駐車場兼緊急時避難場所を設置
2011年 (H23) 11月	光学機器測定棟新築
2012年 (H24) 12月	資材倉庫新築



創業時の成形機

